

宮城県美里農業改良普及センター要覧

大崎市田尻

涌谷町

大崎市松山

MISATO

Misato Agricultural Improvement
and Development Center

大崎市鹿島台

美里町



管内の概況

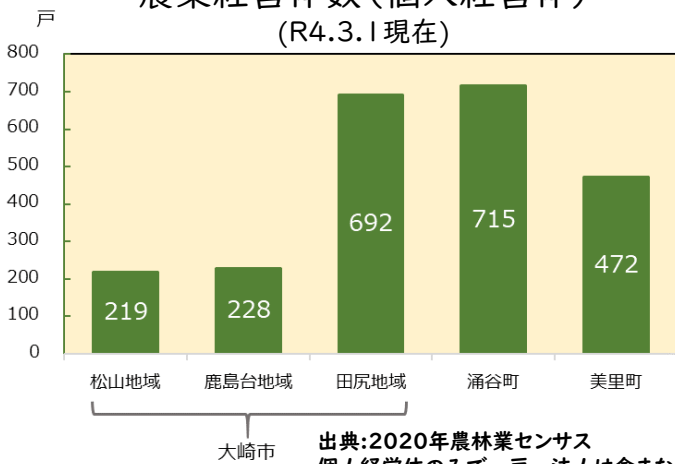
○管内の農業について



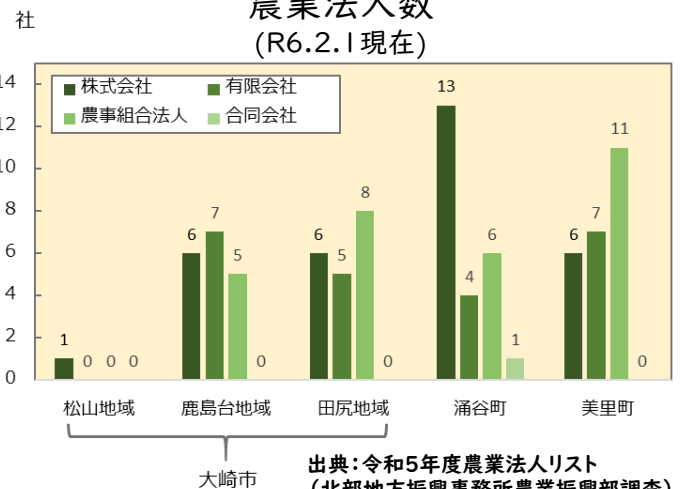
当管内は、県のほぼ中央に位置し、大崎市の一部（旧松山町・旧鹿島台町・旧田尻町）と遠田郡2町（涌谷町・美里町）からなる平地農業地帯です。水稻を基幹に、麦や大豆といった転作作物のほか、園芸作物、畜産などの多彩な農業を展開しています。

○管内の農業データ

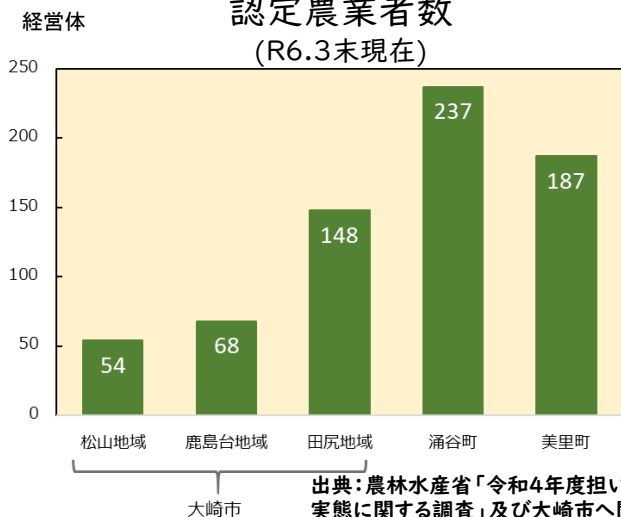
農業経営体数（個人経営体）
(R4.3.1現在)



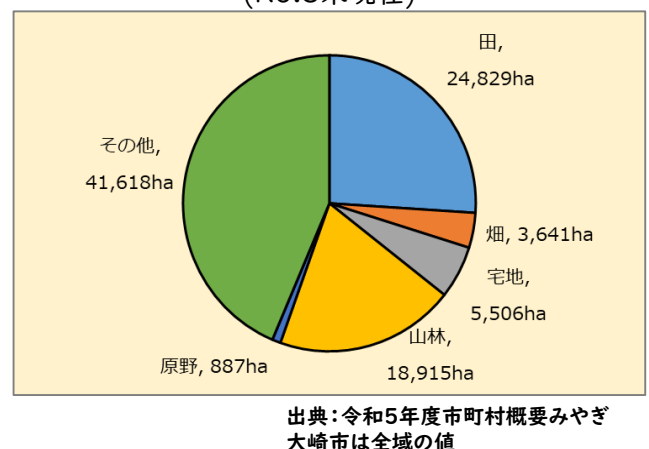
農業法人数
(R6.2.1現在)



認定農業者数
(R6.3末現在)



地目別土地利用状況
(R6.3末現在)



管内の主な農畜産物

地域の個性を活かした特色ある米づくり



出穂前の現地検討会

世界農業遺産「大崎耕土」を有する管内は、「ひとめぼれ」を中心に、多彩な米づくりが行われています。涌谷町では日本初の産金地であることと関連付けて、巨大胚品種の「金のいぶき」の作付を推進しており、大崎市松山では県内一の酒米産地として、地元酒蔵と連携して「吟のいろは」などの酒米を生産しています。

県内屈指の「仙台牛」産地！近年は新たな取り組みにも挑戦！

県内有数の畜産地帯である当管内は、耕畜連携が進んでおり、優良な素牛や仙台牛の生産が盛んです。また、令和4年度から涌谷町等で、家畜飼料向けの子実用とうもろこし生産が始まっています。



和牛共進会

毎年大人気！明治時代から生産される北浦梨



収穫を待つ「北浦梨」

美里町特産の日本なし「北浦梨」は、明治時代に初めて苗木が導入され、栽培に成功したことが始まりとされています。現在では、県内4大日本なし産地（蔵王町、角田市、利府町、美里町）の一つとして「幸水」や「豊水」、「あきづき」等、様々な品種が栽培されています。

施設園芸を巡る新たな動き

東北最大級の産地となっている「こねぎ」、野菜指定産地となっている「ほうれんそう」等が主力で、パイプハウスで周年栽培されています。また、令和3年には日本最大級の5.1haの自動レタス水耕栽培施設が立地し、令和6年3月には県内最大級となる約2haの養液栽培のトマト生産が開始されました。



大型トマト施設

土地利用型の新たな柱！露地野菜がアツい！



ばれいしょの収穫

美里町と大崎市松山地域は、県内で最も早くポテトチップス向けの加工用ばれいしょの生産に取り組んでいる産地です。そのほか、加工業務用にんじんやたまねぎの生産が増えており、最近ではさつまいもの作付も始まり、水田転作による露地野菜栽培が拡大しています。

県内一の小麦産地！大豆の作柄も良好

小麦の作付面積は県内の約7割を占めています。学校給食では地元産小麦「夏黄金」を使ったパンが提供されています。また、麦と大豆の二毛作栽培のほか、大豆単作栽培も行われており、麦、大豆ともに県平均収量を上回っています。



夏黄金の小麦粉とパン

普及活動の概要

1 地域農業を支える多様な経営体等の確保・育成



新規就農者のほ場巡回

管内の農業及び農村を支える担い手等の確保・育成を図るため、集落営農組織の法人化への誘導や、認定農業者の経営改善支援、新規就農者や女性農業者への支援、農業生産工程管理（GAP）導入やアグリビジネスへの取組等、経営の高度化や円滑な事業・経営継承に向けた支援を行っています。

2 水田フル活用による収益性の高い水田農業の確立



アグリテックアドバイザー派遣

水稻、麦類、大豆及び加工業務用野菜（たまねぎ、さつまいも、ばれいしょ、にんじん等）を含めた土地利用型作物生産において、スマート農業等の革新的技術や省力化技術の導入等による収量・品質の向上及び経営の高度化など、アグリテックの推進と、需要に対応した農産物の生産を支援します。

3 地域の特性を活かした園芸、畜産の生産振興



野菜の病虫害防除講習会

園芸品目・畜産等の栽培や飼養管理技術等の高度化による高品質・安定生産を推進するとともに、農薬の適正使用の推進等により、安全・安心かつマーケットに対応した農畜産物の安定供給の取組を支援します。

4 持続可能な農業・農村の構築



地域計画案策定検討会議

持続的な農業生産が可能となる体制や環境等の整備、農村地域の活性化及び安定した農業所得の確保への取組を支援するとともに、自然災害等の新たなリスクへの対応等の取組を支援します。

施設の概要

農業改良助長法に基づき、昭和23年に小牛田食糧増産地区事務所として開設され、名称変更や隣接事務所との合併を経て昭和33年10月に小牛田農業改良普及所、平成18年4月から美里農業改良普及センターと改称し現在に至ります。

1 土壌実験室



土壌分析の説明（視察対応）

農作物栽培における適正施肥を推進することを目的に土壌分析を行い、普及指導に活用しています。

・主な分析項目

pH、EC、硝酸態窒素、リン酸、各塩基類等

・分析の流れ



2 農産加工実習室



地元の精進料理を伝える団体の利用

各種調理が可能な設備と、調理器具や食器を取り揃えています。

主に地元の郷土料理や精進料理を伝承、研究する団体等が利用しています。

3 会議室



農業大学の学生訪問

各種会議のほか、ホワイトボードや黒板、スクリーンを用いた研修会・講習会の開催、生産者や学生の訪問の際の意見交換の場としても活用しています。

組織体制

所長

総括次長

先進技術班

地域農業班

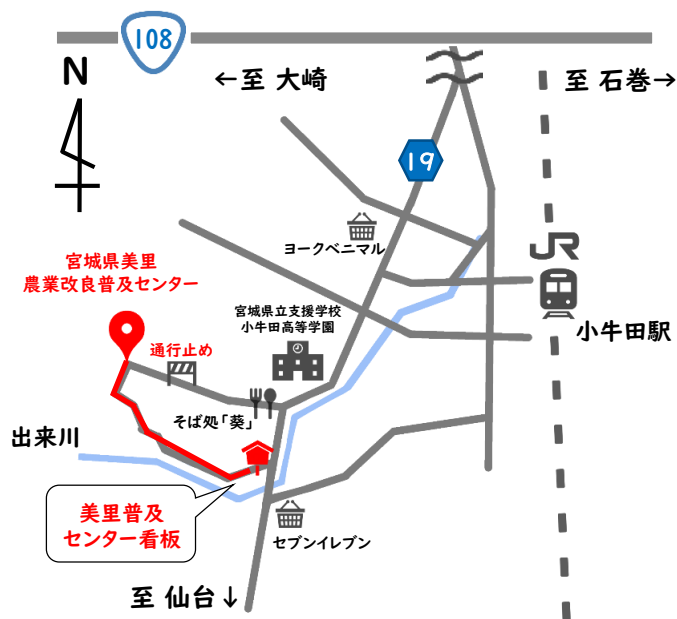
先進的農業を担う 経営体育成の支援

- ・ 水稻や大豆、麦、園芸作物等の栽培技術及び畜産の飼養管理技術の向上支援
- ・ GAPの導入や6次産業化等の経営発展、高度化の支援
- ・ 環境に配慮した農業技術やスマート農業等の先進的技術の普及

地域農業の 重点的な課題解決の支援

- ・ 地域農業振興計画や地域営農システム構築の支援
- ・ 集落営農組織の運営や法人化等の支援
- ・ 青年農業者や女性農業者等、多様な担い手の活躍支援
- ・ 新規就農者の経営安定化支援や就農相談

アクセス



・JR小牛田駅から徒歩15分



・県道19号から実線のルートを使用
美里普及センターの看板を目印に
出来川沿いに進行

※自動車でお越しの際は、住宅街に入り、道が大変狭いので、十分にお気を付けください。

[連絡先]

住所 宮城県遠田郡美里町北浦字笹館5
メール msnokai@pref.miyagi.lg.jp
電話 0229-32-3115
FAX 0229-32-2225



美里農業改良普及センターHP
QRコードから
アクセスできます！

<https://www.pref.miyagi.jp/site/misato-index/>